

2010年
秋期闘争

くらし、権利、平和をまもれ

「労働者派遣法の抜本改正を！」「誰もが安心できる社会保障を！」国民・労働者の切実な要求をかがげて、大阪自治労連はいま、秋期闘争に全力をあげています。



「患者負担を減らせ！」「夜勤を減らせ！」医療の充実求める全国集会・10月21日東京

国保料引き下げ、子どもの医療費助成の充実を！

地域を訪問して、署名を訴え

大阪自治労連・大阪市内地協



大阪市内地協は11月7日、府民要求連絡会とともに大阪市福島区の地域を訪問して署名行動を実施。「橋下知事の財政構造改革プランを見直して、国保料引き下げ、子どもの医療費助成拡充を」と訴えると、快く協力してくれました。「橋下知事を支持していたが、最近疑問を持つようになりました」という人も。



東大阪市職労 青年部

左から、石井綾子さん（市職労青年部書記長）、杉本梓さん（同青年部長）、北本純樹さん（同書記次長）、赤澤文子さん（同副部長）、大平由香さん（同副部長）

NPTに参加して「自分も何かしなければ」と

5月にニューヨークで開かれたNPT再検討会議に、東大阪市職労から代表団として派遣された杉本梓さん、石井綾子さん、赤澤文子さん、大平由香さんの保育士4人が、7月の青年部役員選挙で、そろって青年部長、副部長、書記長の三役を担うことになりました。

「代表団に選ばれるまでは、正直言って組合のことはよくわかりませんでした。でも、同じ代表団に選ばれた他市の青年が頑張っている姿に刺激を受けて、自分も何かしなければ...と思うようになったんです」と青年部長の杉本さん。副部長の大平さんも「平和の大切さを教えられました。帰ってから一人で広島にも行ったんです。もっと学んで、まわりに伝えたい。やるからには中途半端にはしたくないと思ったんです」と、役員を引き受けた動機を語ります。NPTに向けて、市職労の仲間

楽しさを、多くの人に知らせたい

が署名やカンパで自分たちを支えてくれて、労働組合のすばらしさも実感してきました。



大成功した交流会を市職労青年部機関

「若い者どうしてワイワイしゃべりながら、相談もできる。みんな同じ年代なので、仕事の悩みも気軽に話せるんです」と副部長の赤澤さん。書記長の石井さんも「いろんな人と出会えて、会う回数が増えるたびに仲良くなる。役員になって、いまの自分も充実しています」と青年部の魅力を語ります。青年部役員になって今年で3年目を迎える書記次長の北本純

樹さんは「新しく4人が加わってくれて、とても活気づくようになりました」と顔をほころばせます。「青年部の楽しさを、もっと多くの人に知ってもらいたい。みんなをサポートできるように僕も頑張ります」。11月7日に開いた青年交流会も、大きく盛り上がり大成功しました。「組合に参加する最初の一步が大事だと思うんです。みんなが『来て良かった』と思える青年部にしたい。これからも、仲間の輪をどんどん広げていきたいです」と、杉本さんは元気に抱負を語ってくれました。

気軽に話せて、仲間の輪が広がる

これが青年部の魅力です